【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公開番号】特開2015-30927(P2015-30927A)
【公開日】平成27年2月16日(2015.2.16)
【年通号数】公開・登録公報2015-010
【出願番号】特願2013-160462(P2013-160462)
【国際特許分類】
Ｄ０６Ｎ　7/04　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　3/30　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　7/00　(2006.01)
Ｅ０４Ｆ　13/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０６Ｎ　7/04
Ｂ３２Ｂ　3/30
Ｂ０５Ｄ　7/00　Ｆ
Ｅ０４Ｆ　13/00　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成28年6月17日(2016.6.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも基材シート上に、表面に凹凸形状を有する装飾層と機能層とを有する機能性壁紙であって、
前記機能層が、少なくとも前記凹凸形状における凹部に存在することを特徴とする機能性壁紙。
【請求項２】
少なくとも基材シート上に、表面に凹凸形状を有する装飾層と機能層とを有する機能性壁紙を製造するに際し、
前記装飾層の表面に凹凸形状を形成した後に、機能性材料を塗布し、前記凹凸形状における少なくとも凹部に前記機能層を形成するようにしたことを特徴とする機能性壁紙の製造方法。
【請求項３】
前記機能性材料の塗布方法としては、リバースロールコーター、ナチュラルロールコーター、スポンジロールコーター、スプレーコーターのいずれかによって塗布し、前記機能層を形成することを特徴とする請求項
２に記載の機能性壁紙の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
（１）すなわち、本発明の機能性壁紙は、少なくとも基材シート上に、表面に凹凸形状を

有する装飾層と機能層とを有する機能性壁紙であって、
　前記機能層が、少なくとも前記凹凸形状における凹部に存在することを特徴とするものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
（２）本発明の機能性壁紙の製造方法は、少なくとも基材シート上に、表面に凹凸形状を有する装飾層と機能層とを有する機能性壁紙を製造するに際し、
　前記装飾層の表面に凹凸形状を形成した後に、機能性材料を塗布し、前記凹凸形状における少なくとも凹部に機能層を形成するようにしたことを特徴とするものである。
（３）前記機能性材料の塗布方法としては、リバースロールコーター、ナチュラルロールコーター、スポンジロールコーター、スプレーコーターのいずれかによって塗布し、前記機能層を形成することが好ましい。